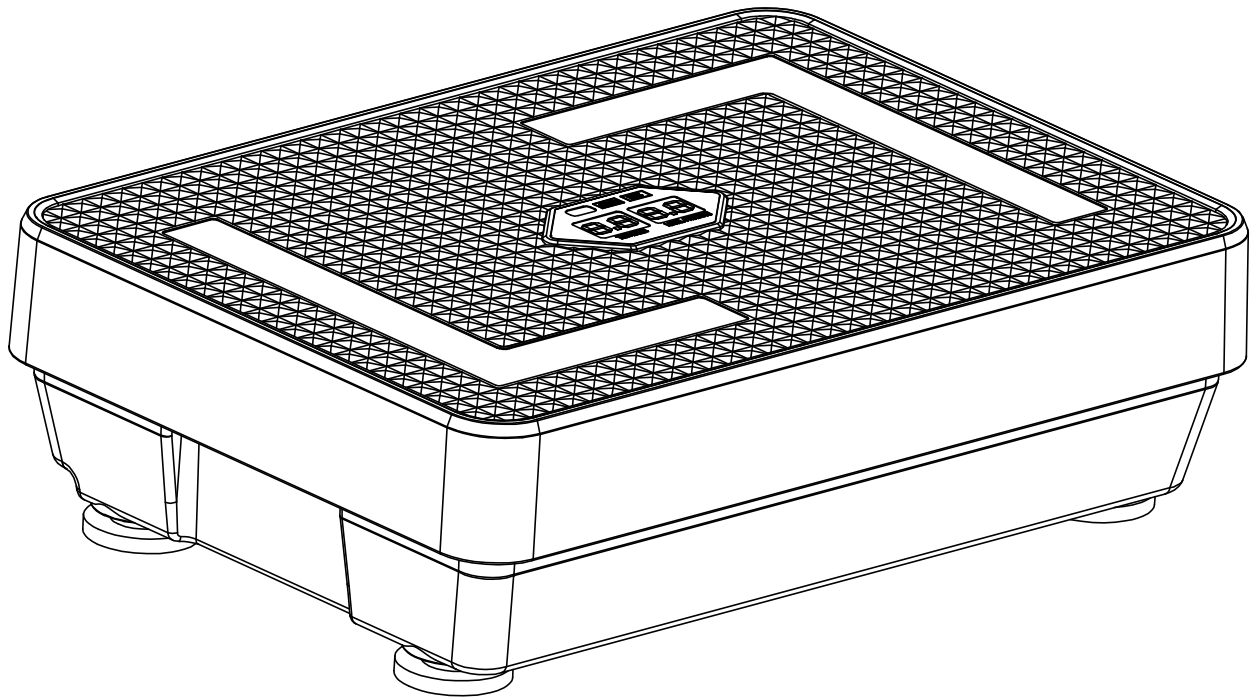


DOUBLE WONDER WAVE X

ダブルワンダーウェーブ クロス

取扱説明書 (保証書付き)



この度は、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 また、読み終わった後はいつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

- ・安全のため、**警告及び注意表示**を必ずお守りください。
- ・本製品のご使用制限は**100kg以下・連続使用時間10分まで**となります。
 10分を超える過度のご使用はおやめください。身体に過度の負担を与え、
 けがや事故の原因になります。
- ・乳幼児やペットが本製品に近づかないようご注意ください。
- ・初めてお使いになられる際はバランスを崩しやすいため、壁などに手をつき
 低いレベルからご使用ください。
 特にEMSをご使用の際は、慣れるまでは椅子などに座ってご使用ください。

電 源：AC100V 50Hz/60Hz
 消費電力：200W
 本体サイズ：約 D29×W40×H12 cm

本 体 重 量：約7.5kg
 耐 荷 重：100kg
 生 産 国：中国

改良のため、デザインや仕様の一部を予告なく
 変更している場合があります。ご了承ください。



 株式会社クレオテクノロジー

2021年 5月発行

安全のために必ずお守りください






本書記載の警告および注意事項を守らず生じた事故につきましては一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

警告・注意表示について



 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重傷を負う恐れがある内容です。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容です。

安全記号について






この取扱説明書では、安全に関する警告や注意を記載する場合、以下の記号を併記して注意を促しています。

	絶対におこなわないでください。		必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	強制・指示		絶対に分解・修理・改造はしないでください。
	絶対に触れないでください。		

警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●運動目的以外で使用しないでください。 ●医師が使用を不適当と定めた方は使用しないでください。 ●気温が40℃を超える場所や湿気やほこりの多い場所では使用しないでください。 ●乳幼児やペットのいる場所では使用しないでください。 ●本製品の耐荷重量は100kgです。体重が100kgを超える方は使用しないでください。 ●本製品を脚立や踏み台のかわりに使用しないでください。 ●本製品は一人用です。同時に二人以上では使用しないでください。 ●過度な使用はやめてください。また食後及び飲酒後は使用しないでください。 ●使用中に、めまい・吐き気・動悸・筋肉の痛みなどがあつた場合はすぐに使用をやめてください。 ●電源コードを無理に曲げないでください。 ●付属の電源コードは本製品専用ですので、他製品では使用しないでください。 ●本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障、火災、感電の原因となります。 ●主電源が入った状態で本製品を移動させないでください。 ●16歳未満の方は使用しないでください。
	<p>●以下に該当する方はご使用前に必ず医師にご相談の上、使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の治療を受けている方・体調のすぐれない方・妊娠中の方、または妊娠の可能性のある方・出産直後の方・生理中の方 ・血行障害、血管障害、血栓など循環器に障害をお持ちの方 ・骨粗鬆症など骨に異常がある方・心臓に障害のある方 ・ペースメーカーをご使用の方・呼吸器に障害のある方・高血圧の方・内臓疾患のある方・背骨に異常のある方・腰痛のある方・手脚、首等にしびれのある方・飲酒している方・体内にボルトなど金属を埋め込んでいる方・体温38℃以上(有熱期)の方 例：急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期、衰弱している場合・脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性[とう(疼)痛性]疾患の人・医師に運動を禁じられている人 ●一人で運動が不安な方は、適切な方のサポートの元で使用してください。 ●本製品は国内で使用してください。海外では使用できません。 ●本製品の隙間に手指を挟まないようご注意ください。 ●高温で湿気の多い場所や水気のある場所、埃の多い場所でのご使用はおやめください。感電や故障の原因となります。

警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する前後は、十分にストレッチをしてください。 ●乳幼児やペットが本製品に近づかないようご注意ください。 ●必ず交流100Vで使用してください。 ●1回の使用時間は10分とし、連続使用する場合は1時間以上空けて使用してください。 ●一日の使用回数は2~3回までとし、連続使用する場合は、ご自分のペースで無理をせずに使用してください。 ●素足や運動靴(EMS使用時を除き)で使用してください。靴下やスリッパなどをはいて使用すると、事故、けが、転倒の原因となります。
	●濡れた手で電源コードを触らないでください。感電や故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードやプラグが傷んでいる場合やコンセントへの差し込みがゆるい場合は、直ちに使用を中止し、主電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。発火、火災の原因となります。 ●雷害や停電、水濡れなどの場合には、直ちに使用を中止し、電源コードを本体から抜いてください。感電や故障の原因となります。
	●本製品を修理をすると重大な事故につながる恐れがありますので絶対に行わず、お客様相談窓口までお問合せください。(P11をご参照ください。)
	<ul style="list-style-type: none"> ●次のような医用電気機器とは、絶対に併用しないでください。事故や医用電気機器の誤作動をまねき、身体に著しい障害をもたらす恐れがあります。 ・ペースメーカーなどの電磁障害の受けやすい体内植込み型医用電気機器・人工心肺などの生命維持用医用電気機器・心電計などの装着型医用電気機器 ●電極部に金属を接触させないでください。感電の恐れがあります。 ●他の電気製品・美容機器などとは併用しないでください。体調不良を起こす恐れがあります。 ●ネックレスなどの金属類をつけたまま使用しないでください。強いショックを受ける恐れがあります。 ●次の部位には使用しないでください。 ・胸部および肩甲骨などの心臓の周辺部位や、首から上の部位(頭、顔など)・傷口や目、口、陰部などの粘膜部・当日、脱毛処理をした部位・整形手術をした部位・皮膚の下に金属、プラスチック、シリコンなどを埋め込んでいる部位・刺青(タトゥー)を入れている部位・皮膚トラブルのある部位(例：アトピー性皮膚炎、顔面黒皮症、皮膚の炎症、かゆみやほてりのある部位、物理的刺激などによる病的なシミやアザ、敏感肌、ケロイド体質など)・痛覚、知覚障害を起こしている部位・生理中の腹部・骨折部位 ※EMSを使用する場合は足の裏以外には使用しないでください。

安全のために必ずお守りください

⚠ 注意



- 電源コードを抜き差しする際には必ずプラグを持って行ってください。破損の原因となります。
- 本製品は人が乗らない状態の「空運転」はしないでください。「空運転」をすると、予期せぬ動きをし、故障、事故、器物破損の恐れがあります。
- 設置の際には十分な広さのある場所を確保し、水平で安定した場所に設置して使用してください。タイルなどの滑りやすい場所やクッションの上などの不安定な場所では使用しないでください。がたつきや異常振動、異音が発生する恐れがあり、事故や故障の原因になります。
- 通行の邪魔になるような場所に保管しないでください。
- 本製品は屋内用です。屋外や直射日光の当たる場所では使用しないでください。
- 製品本体を傷めますので、シンナー系や酸系、アルカリ系の洗剤でのお手入れはやめてください。
- EMS使用時は足の裏以外で電極部を触らないでください。強い刺激により、事故や体のトラブルの原因となります。
- EMS使用中に足（ひざ上～つま先）を触ると思わぬ刺激を感じることがあります。使用中の人の足には触らないでください。
- 本製品は家庭での使用を目的に作られております。業務用での使用など過剰な使用はしないでください。
- 金属枠のある椅子などに座ってEMSを使用しないでください。感電、けがの原因になります。



- 本製品は床面に振動が伝わります。深夜・早朝の使用や、階下や隣室への配慮の上、ご使用ください。
- 運転中にコンセントを抜くことや、運転を停止せず電源を切ると機械に負担がかかりますので、必ず以下の手順で停止してください。電源を切る際は、
 - ①リモコンにて運転を停止してください。
 - ②リモコンにて電源を切ってください。
 - ③主電源ボタンにて電源を切ってください。
 - ④コンセントから電源コードを抜いてください。

⚠ 注意



- 本体を長時間同じ場所に設置すると床などに跡が残る場合や色がる場合がありますので、ご注意ください。必要に応じて、床表面に本製品が直接当たらないよう、マットを敷くなどしてください。その際、毛足が長いじゅうたんなど不安定なものは避けていただき、ゴムマットなどの滑りにくいものをご使用ください。
- 使用する前に電源コードがしっかりと差し込んであるかを確認してください。発火、火災の原因となります。
- 本体が振動している状態で乗ると、大変危険ですので必ず静止した状態で乗り、その後スタートさせてください。
- 本製品に乗る際は前後左右均等に体重がかかるように心がけてください。前後左右いずれかに体重が偏ったまま使用を続けると故障の原因になる可能性があります。
- 運動の前後には適量の水分を摂取してください。
- 直射日光や高温多湿、埃の多い場所を避けて屋内で保管してください。
- 使用前に異常がないか確認してください。長時間使用しなかった場合は特に、十分確認してから使用してください。
- 本製品はその機構上、多少の振動音がしますが故障ではありません。
- 本製品はその機構上、必ずしも水平状態で停止いたしません。が故障ではありません。
- 保管する際にはものを上に置かないでください。特に電極部に他の金属が接触していると錆びる可能性がありますので、十分注意してください。



- 使用後は良く絞った柔らかい布等でこまめに汚れを拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液を含ませた布等で拭き、その後水拭き、乾拭きをしてきれいに洗剤を拭き取ってください。拭き取った後は、風通しの良い日陰で十分に乾かしてからご使用ください。

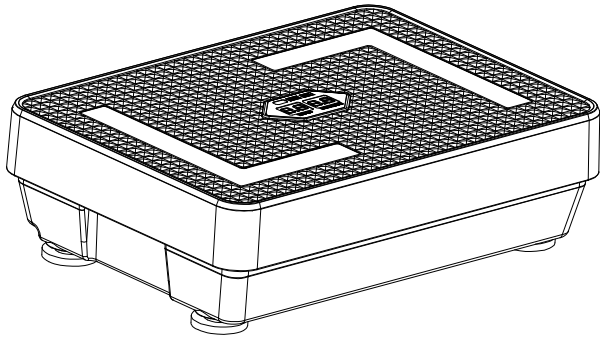


- 使用後は必ず電源をお切りください。

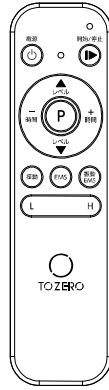
仕様

商 品 名	ダブルワンダーウェーブクロス
型 番	E-HF007WS
本 体 サ イ ズ	約 D29 x W40 x H12cm
本 体 重 量	約 7.5kg
耐 荷 重	100kg
定 格 入 力	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	200W
タ イ マ ー	最短1分～最長10分（1分間隔）初期設定時間10分
振 動 回 数	最小450回/分 最大800回/分
セ ッ ト 内 容	本体、リモコン、電源コード、取扱説明書（保証書付き）

セット内容

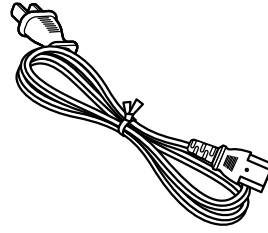


本体



リモコン

単四電池2本使用
※電池は別売りです。



電源コード

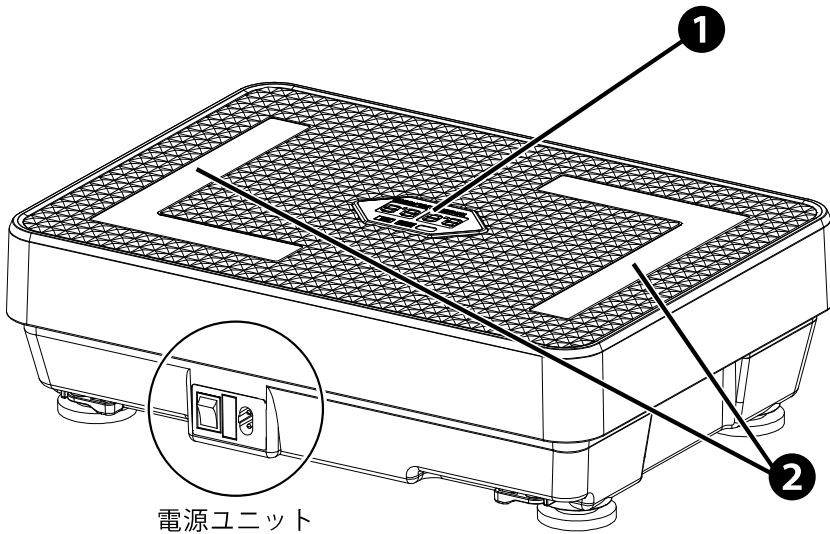
※電源コードを抜き差しする際には
必ずプラグを持って行ってください。



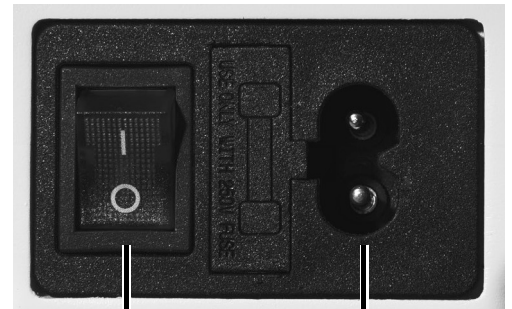
取扱説明書

(保証書付き)

各部名称の説明



電源ユニット



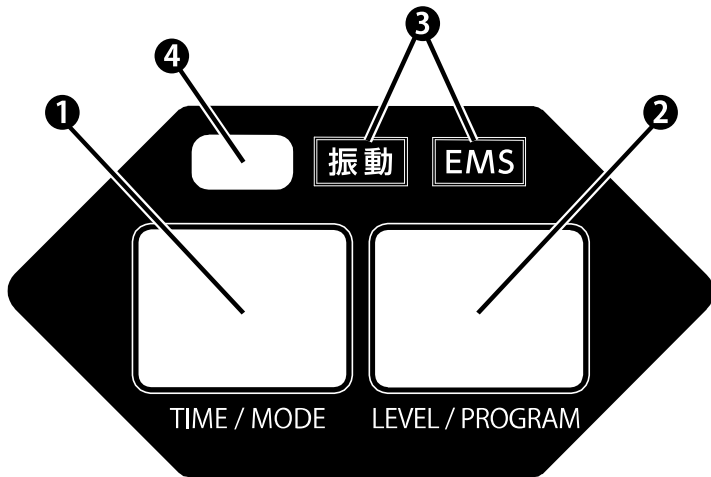
3

4

電源ユニット拡大図

①	本体パネル	動作状況を表示するパネルです。詳細は次項をご確認ください。
②	電極部	上面の左右金属板が電極部です。EMS使用時は足を乗せると通電されます。 ※足裏の水分量により、電気刺激を感じない場合や極端に強い刺激を感じる場合があります。
③	主電源ボタン	・主電源を入れる 主電源スイッチを マーク側に押すと主電源が入ります。主電源が ON の状態のときは点灯します。 ・主電源を切る 主電源スイッチを ○ マーク側に押すと主電源が切れます。主電源が OFF の状態のときは消灯します。
④	電源コード差し込み口	電源コードの差し込み口です。振動によりコードの差し込みが緩む場合がありますので使用する前にしっかり確認してください。また、付属の電源コード以外使用しないでください。故障、発火、火災の原因となります。

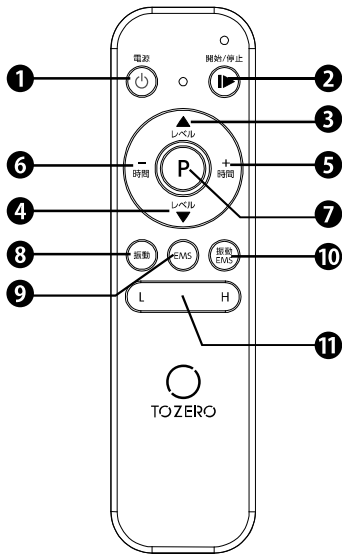
本体パネルの説明



リモコン操作は本体パネルリモコン受信窓に向けて操作してください。受信範囲は1.5m以内です。

①	時間 / モード 表示部	時間(タイマー)とモードが表示されます。各モードの表示は以下の通りです。		
		モード	開始前	開始後
		振動モード	マニュアルモード: 選択中の振動モード(LまたはH) または設定時間が表示されます。	マニュアルモード: 残り時間と運転中の振動モード (LまたはH) が交互 (約5秒おき) に表示されます。
			プログラムモード: 選択中のプログラムモード "P1~P5"が表示されます。	プログラムモード: 残り時間と運転中のプログラムモード "P1~P5"が交互 (約5秒おき) に表示されます。
		EMSモード	選択中のプログラムモード "P1~P4"が表示されます。	残り時間と運転中のプログラムモード "P1~P4" が交互 (約5秒おき) に表示されます。
振動+EMSモード	表示はありません。	残り時間が表示されます。		
②	レベル / プログラム 表示部	レベルまたは設定したプログラムが表示されます。各モードの表示は以下の通りです。		
		モード	開始前	開始後
		振動モード	マニュアルモード: 表示はありません。 プログラムモード: プログラムモード名が表示されます。	振動レベルとプログラムモード名が交互 (約5秒おき) に表示されます。
			AL: P1 ワークアウト UP: P2 ウォーミングアップ ES: P3 インターバルトレーニング(ソフト) EH: P4 インターバルトレーニング(ハード) CL: P5 クールダウン	マニュアルモード: 運転中の振動レベル "1~30" が表示されます。 プログラムモード: 設定したプログラムモード名が表示されます。
		EMSモード	選択中のプログラムモード名が表示されます。 HE: P1 高周波トレーニング CE: P2 中周波トレーニング LE: P3 低周波トレーニング AL: P4 バランストレーニング	EMSレベル "1~20" とプログラムモード名が交互 (約5秒おき) に表示されます。
振動+EMSモード	プログラムモード名の "CE" が表示されます。 CE: コンビネーショントレーニング	EMSレベル "1~20" とプログラムモード名が交互 (約5秒おき) に表示されます。		
③	選択機能表示部	選択中のモードが点灯します。振動+EMSモードを選択した際には振動とEMS両方が点灯します。		
④	リモコン受信部	リモコンからの信号を受信するための受信部です。		

リモコンの説明



①	電源ON/OFF	電源のONとOFFを操作するボタンです。
②	開始/停止	運転の開始と停止を操作するボタンです。
③	レベルUP	振動やEMSのレベルを上げるときに操作するボタンです。 (最大レベル:振動モード:30、EMSモード:20、振動+EMSモード:20)
④	レベルDOWN	振動やEMSのレベルを下げるときに操作するボタンです。(最小レベル1)
⑤	時間(タイマー)+	設定時間を増やす時に操作するボタンです。(最長10分)
⑥	時間(タイマー)-	設定時間を減らす時に操作するボタンです。(最短1分)
⑦	プログラムモード	プログラムモードの切り替えボタンです。 振動モード: P1~P5 EMSモード: P1~P4
⑧	振動モード	振動モードを選択するボタンです。
⑨	EMSモード	EMSモードを選択するボタンです。
⑩	振動+EMSモード	振動+EMSモードを選択するボタンです。
⑪	振動モード切替	振動モードの切り替えボタンです。 L:LOW振動 H:HIGH振動

単四電池2本使用※電池は別売りです。

※電池の向き(+/-)を良く確かめ、正しい向きに入れてください。電池の向きを誤ると発熱、発火の原因となりますのでご注意ください。
銘柄の異なる電池や新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。

振動モード(マニュアル)の操作手順

振動モードを設定したい場合

- ①の電源ボタンを押して電源を入れます。
- ⑧の振動モードボタンを押し、⑪の振動モード切替ボタンにて振動モード("L"または"H")を選択してください。
- ②の開始/停止ボタンを押すと運転が始まります。
※②の開始/停止ボタンを押すと初期設定の「時間:10」「振動レベル:01」で運転が開始されます。
※運転開始後の時間変更やプログラムモード、EMSモード、振動+EMSモードへの変更はできません。
※運転中に振動レベルを変更するには⑤または④のボタンを操作します。運転開始前には振動レベルの変更はできません。

タイマーを設定したい場合

- ①の電源ボタンを押して電源を入れます。
- ⑧の振動モードボタンを押し、⑪の振動モード切替ボタンにて振動モード("L"または"H")を選択してください。
- ⑤または⑥のボタンを押して好みの時間を設定します(1分~10分)。
- ②の開始/停止ボタンを押すと運転が始まります。
※運転開始後の時間やプログラムモード、EMSモード、振動+EMSモードへの変更はできません。
※運転中に振動レベルを変更するには⑤または④のボタンを操作します。運転開始前には振動レベルの変更はできません。
※タイマーの設定後に振動モードを変更すると、タイマーの設定がリセットされます。
運転開始後に振動モードを変更するか、振動モードを選択後にタイマーの設定を行ってください。
※ご自身の体調、体力に合わせて振動レベル、時間を選択してください。

振動モード(プログラム)の操作手順 (プログラムモードの内容はP9をご参照ください)

- ①の電源ボタンを押して電源を入れます。
- ⑧の振動モードボタンを押し、振動モードに設定してください。
- ⑦のプログラムモード切替ボタンを押してP1~P5の中からプログラムモードを選択します。
- ②の開始/停止ボタンを押すと運転が始まります。
※プログラムモードボタンを1回押す毎にP1、P2、P3、P4、P5と表示が切り替わり、一周するとマニュアルモードに戻ります。
※運転開始後のEMSモード、振動+EMSモードへの変更やプログラムモードの切り替え、時間・振動レベルの変更はできません。
プログラムモードを切り替えたい場合は②の開始/停止ボタンを押して停止させ、最初から行ってください。
※ご自身の体調、体力に合わせてプログラムモードを選択してください。

EMSモードの操作手順 (プログラムモードの内容はP10をご参照ください)

- ①の電源ボタンを押して電源を入れます。
- ⑨のEMSモードボタンを押し、EMSモードを選択します。
- ⑦のボタンを押してP1~P4の中からプログラムモードを選択します。
- ②の開始/停止ボタンを押すと運転が始まります。
※プログラムモードボタンを1回押す毎にP1、P2、P3、P4と表示が変わり、一周するとP1に戻ります。
※運転開始後の振動モード、振動+EMSモードへの変更やプログラムモードの切り替え、時間の変更はできません。
※運転中にEMSレベルを変更するには⑤または④のボタンを操作します。運転開始前にはEMSレベルの変更はできません。
※ご自身の体調、体力に合わせてEMSレベルを選択してください。

振動 + EMSモードの操作手順

1. ①の電源ボタンを押して電源を入れます。
2. ⑩の振動 + EMSモードボタンを押し、振動 + EMSモードを選択します。
3. ②の開始 / 停止ボタンを押すと運転が始まります。

※運転開始後の振動モード、EMSモードへの変更はできません。

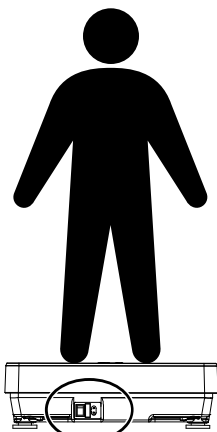
※運転中にレベルを変更するには③または④のボタンを操作します。運転開始前にはEMSレベルの変更はできません。

※レベルボタンを押すとEMSレベルのみ変化します。振動レベルはプログラムに従って自動で変化します。(プログラムの内容はP10をご参照ください。)

乗り方

フロント(正面を向いて乗る)

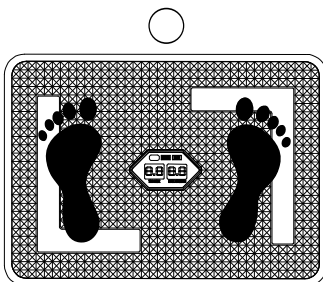
正面から見た図



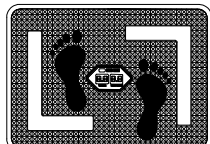
電源ユニット

上から見た図

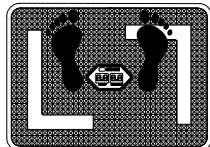
×



両足が電極部に接触している



電極部に接していない



片足しか電極部に接触していない

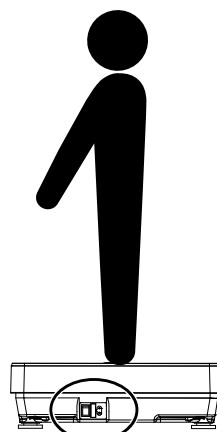
本体中央のパネルをまたぐように正面を向いて立ちます。

※初めてお使いになられる際は壁などに手をつき、低いレベルからご使用ください。
特にEMSをご使用の際は、慣れるまでは椅子などに座ってご使用ください。

振動モード	主に体の側面の筋力トレーニングを目的とした乗り方です。
EMSモード	両足が電極部に接触するように乗ってください。 両足とも電極部に接触しない乗り方や片足だけ接触する乗り方をすると通電できない場合があります。
振動 + EMSモード	両足が電極部に接触するように乗ってください。 両足とも電極部に接触しない乗り方や片足だけ接触する乗り方をすると通電できない場合があります。

サイド(横を向いて乗る)

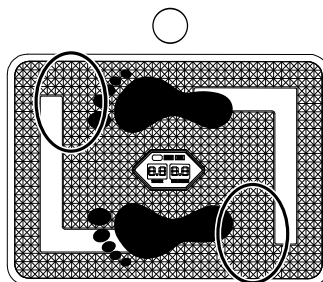
正面から見た図



電源ユニット

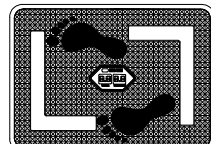
上から見た図

×

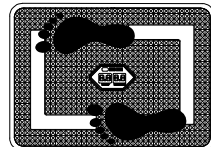


両足が電極部に接触している

※片足で両方の電極部に接触しない



電極部に接していない



片足で両方の電極部に接触する

本体中央のパネルをまたぐように正面側に対して、90°横向きに立ちます。この時に向く方向は左向きでも右向きでも結構です。

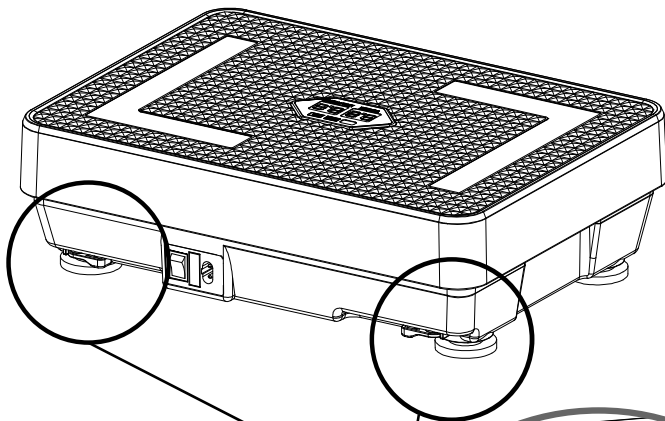
※初めてお使いになられる際は壁などに手をつき、低いレベルからご使用ください。
特にEMSをご使用の際は、慣れるまでは椅子などに座ってご使用ください。

振動モード	主に体の正面及び背面の筋力トレーニングを目的とした乗り方です。
EMSモード	両足が電極部に接触するように乗ってください。 電極部に接触しない乗り方や片足で両方の電極部に接触する乗り方をすると通電できない場合や強い刺激となる場合があります。 ※足が左右の電極に接触してしまう場合は、足の位置を前後にずらしてください。
振動 + EMSモード	両足が電極部に接触するように乗ってください。 電極部に接触しない乗り方や片足で両方の電極部に接触する乗り方をすると通電できない場合や強い刺激となる場合があります。 ※足が左右の電極に接触してしまう場合は、足の位置を前後にずらしてください。

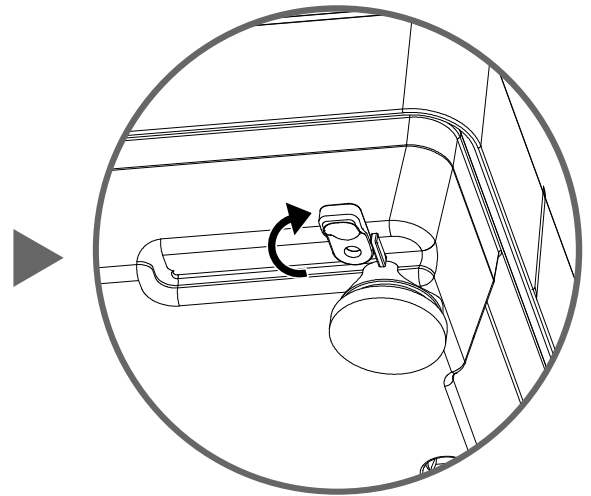
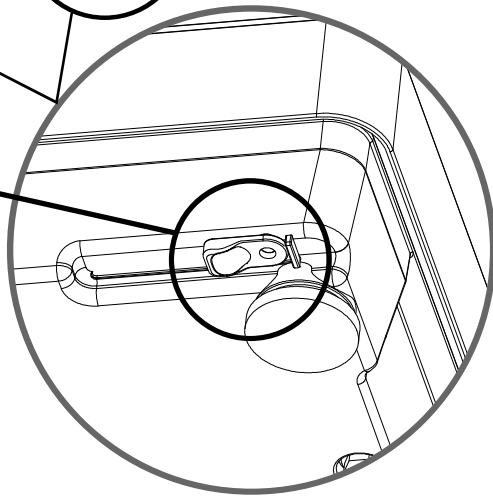
縦置き収納方法

- 縦置きで収納することができます。その際には必ず、ストッパーをご使用ください。
- 収納する際には必ず電源コードを抜いてください。※電源コードを抜き差しする際には必ずプラグを持って行ってください。
- 収納する際は平らな場所に置き、特に小さいお子様やペットが勝手に触ることのないよう、必要に応じて梱包などを施してください。
また、直射日光が当たる場所、高温多湿な場所、ホコリの多い場所には収納しないでください。サビや傷み、故障、部品劣化の原因になります。
- 収納の際には床面を保護する布などを敷いてください。
- 収納場所は壁などの近くに、転倒には十分ご注意ください。
- 縦置き状態で引きずらないでください。床面が傷つく恐れがあります。
- 使用する際にはストッパーを元の位置にお戻しください。

①2ヶ所のストッパーをそれぞれ前方に最大限広げてください。



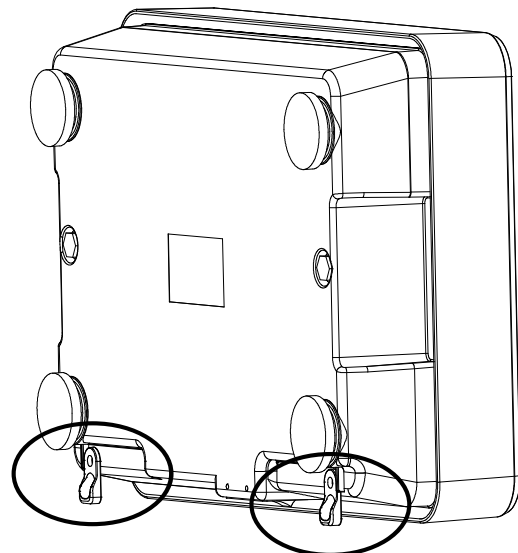
縦置き用
ストッパー



収納状態(イメージ図)

②ストッパーが下になるように立てて収納してください。

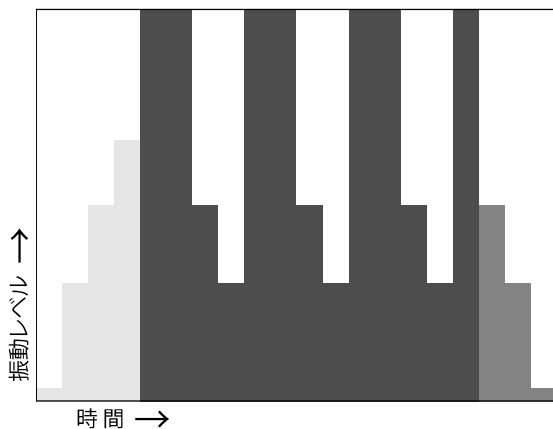
※収納場所は壁などの近くに、転倒には十分ご注意ください。



振動モードプログラム

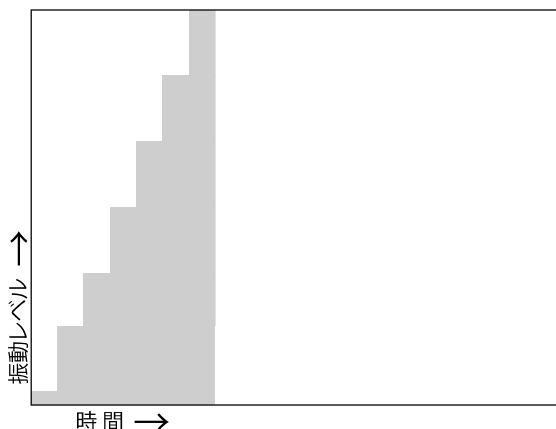
※ご自身の体調、体力に合わせて、プログラムモードを選択してください。

P1 ワークアウト 88



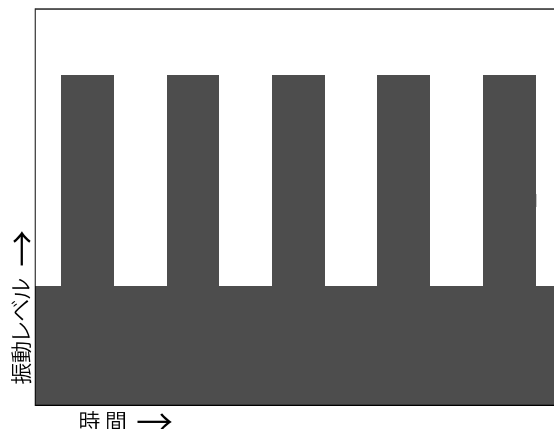
ウォーミングアップ+インターバルトレーニング+クールダウンまでを一貫して行うことを目的としたモードです。

P2 ウォーミングアップ 88



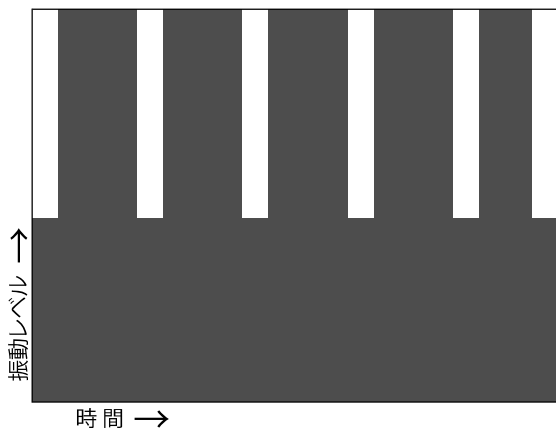
トレーニング前などのウォーミングアップを目的としたモードです。

P3 インターバル (ソフト) 89



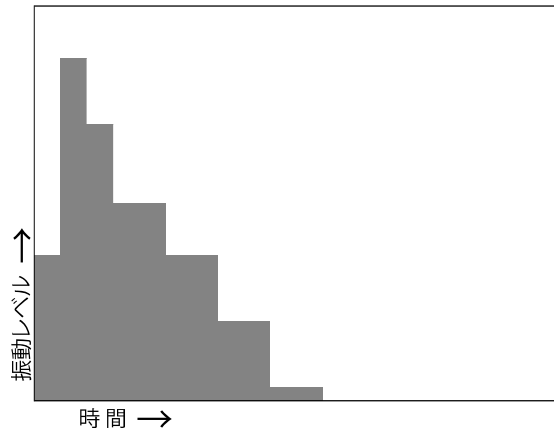
一定時間で高い振動強度と低い振動強度を繰り返すトレーニングです。

P4 インターバル (ハード) 88



一定時間で高い振動強度と低い振動強度を繰り返すトレーニングです。
ソフトに比べ、全体の振動強度が高い上級者向けのモードです。

P5 クールダウン 88



トレーニング後などのクールダウンを目的としたモードです。

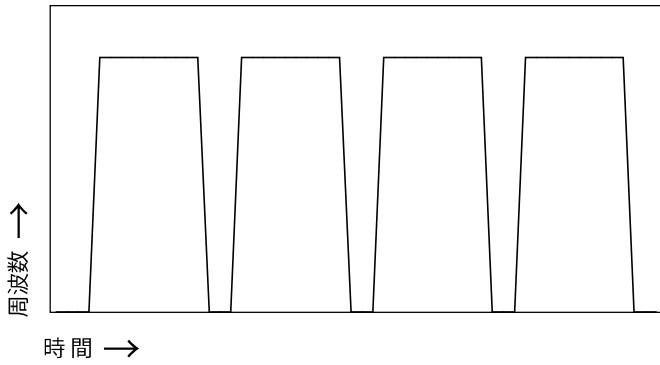
※図はイメージです

EMSモードプログラム

※ご自身の体調、体力に合わせて、プログラムモードを選択してください。

P1 高周波トレーニング

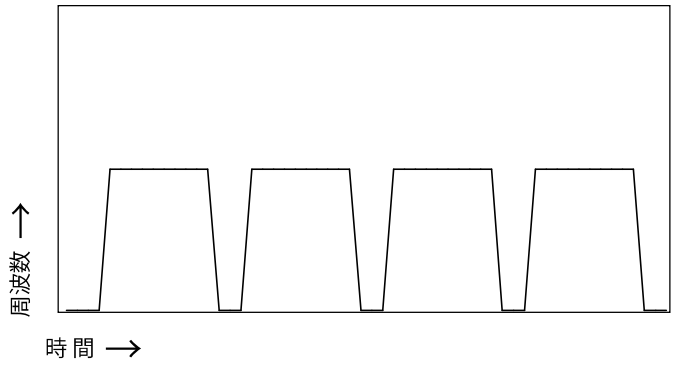
HE



深層の筋肉をトレーニングすることを目的としたモードです。比較的刺激が弱いので、初めての方におすすめです。

P2 中周波トレーニング

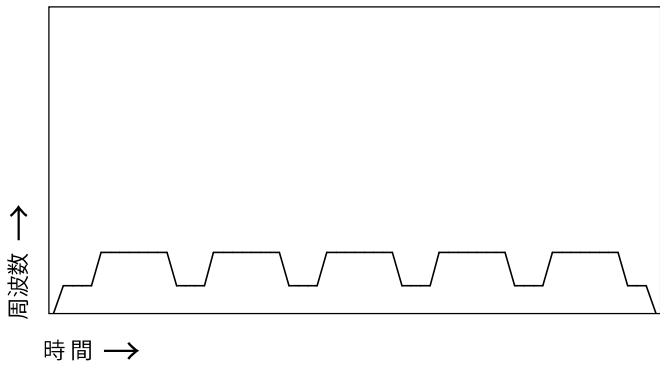
EE



中間層の筋肉をトレーニングすることを目的としたモードです。

P3 低周波トレーニング

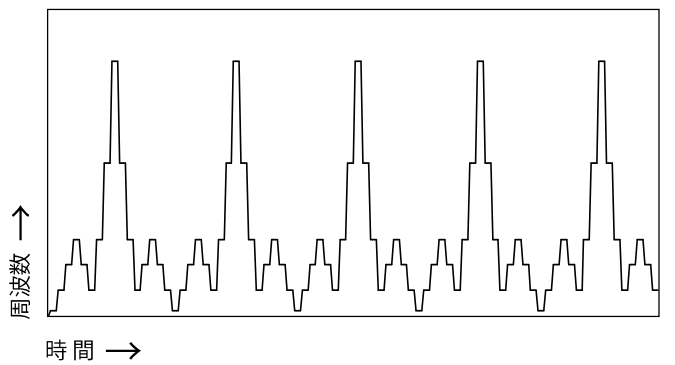
EE



表層の筋肉をトレーニングすることを目的としたモードです。

P4 バランストレーニング

RE



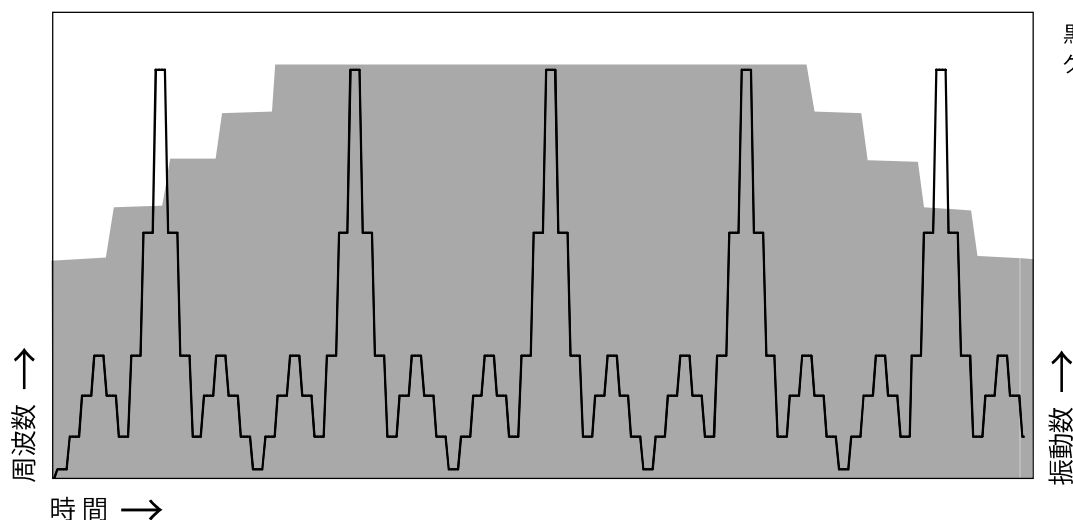
表層～深層すべての筋肉をバランスよくトレーニングすることを目的としたモードです。すべてのモードが入っているため、上級者向けのモードです。

※図はイメージです

振動 + EMSモード

コンビネーショントレーニング

CE



黒 : EMS
グレー : 振動

※図はイメージです

故障かなと思ったら

状態	原因	対応
動かない	電源コードがきちんと差し込まれていない	電源コードをしっかり奥まで差し込んでください
	主電源が入っていない	主電源を入れてください
	ヒューズが切れている	下記のお客様相談窓口までご連絡ください
音が気になる	モーター音・回転による摩擦音	通常の運転音ですのでご安心ください
	破損等による異物の混入	下記のお客様相談窓口までご連絡ください
リモコンが使えない	電池が切れている・入っていない・入れ方が正しくない	新しい電池を正しい向きで入れてください
	本体とリモコンが遠い・操作パネルに向いていない	本体操作パネルに向けて1.5m以内の距離で操作してください
振動またはEMSのレベルが上がらない	停止中にレベルを上げようとしている	運転中にレベルを上げてください
急に止まった	設定時間を終えた	1時間程度間隔を空けてもう一度使用してください
	基板不良・接触不良	下記のお客様相談窓口までご連絡ください
操作パネルが操作できない	基板不良・接触不良	下記のお客様相談窓口までご連絡ください
刺激を感じない、刺激が弱くなった	レベル設定が低い	「+」「-」ボタンを押して強さを調節してください
	足の裏の水分量が足りない	足裏にボディークリームを塗って使用するか、お風呂上がりなど足裏の水分量が十分なときに使用してください
	両足が正しく電極部に接触していない	正しく電極部に接触させてください。乗り方はP7をご参照ください
左右で刺激が違う、ビリビリする	片足裏側だけ水分やクリームがついている	水分やクリームをふき取ってください
	肌に傷がある	傷がある場合は完治するまで使用を控えてください

上記をお試しいただき、それでも問題が解決しない場合は下記のお客様相談窓口までご連絡ください。また、付属品などを紛失し、購入されたい場合などもお客様相談窓口までご連絡ください。

保証とアフターサービス

※必ずお読みください

(1)保証書

保証書は所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管ください。

(2)保証期間中に修理を依頼される場合

保証書の記載内容に従って修理いたします。

(3)保証期間を過ぎて修理をされる場合

修理可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

(4)補修用部品の最低保有期間

当社ではこの「ダブルワンダーウェーブクロス」の補修用性能部品を製造打ち切り後最低2年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

(5)ご使用中に普段と異なる状態になりましたら、ただちに使用を中止し、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。

※お客様ご自身の分解・修理は大変危険です。絶対におやめください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、まずはお買い上げ販売店にお申し付けください。

お客様相談窓口

フリーダイヤル



0120-540-743

® 受付時間 土日、祝日、年末年始を除く平日 10:00~17:00



株式会社クレオテクノロジー

〒939-3524 富山県富山市水橋伊勢屋158-1

